

◆繰越の方法

(画面例『PCA 商魂・商管シリーズ バージョンDX』使用)

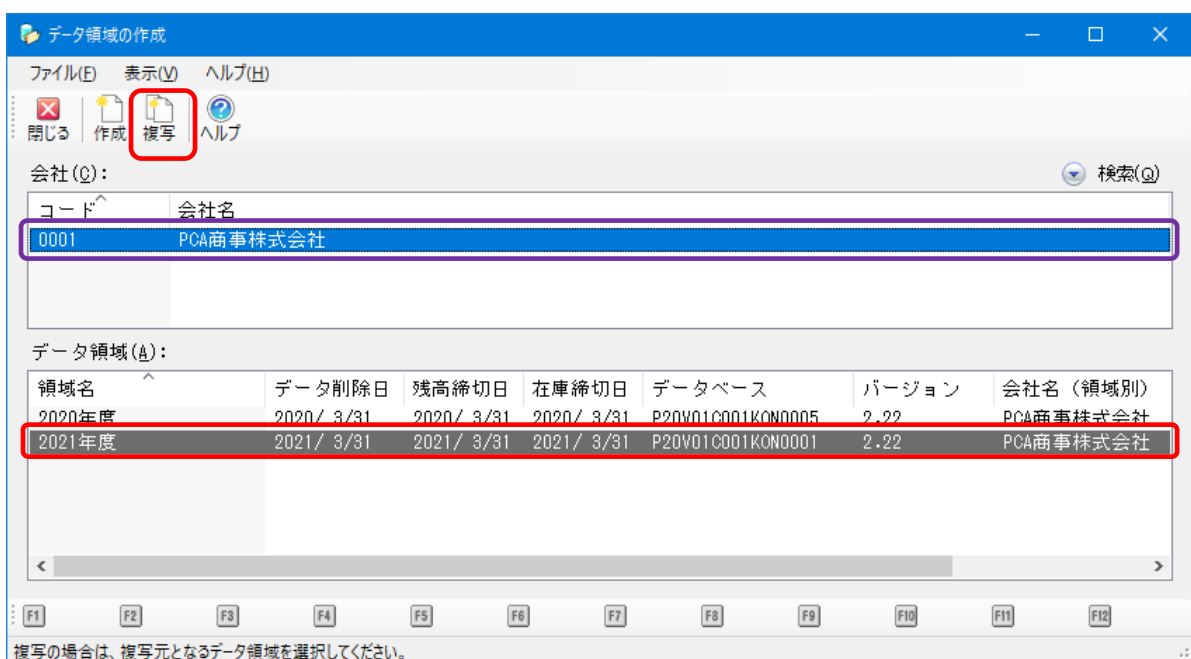
期が変わり新しい領域に移行したい場合、以下の作業で新しい領域へデータを移行することができます。
※但し、『PCA 商魂・商管シリーズ (じまん・jiman を含む)』は期ごとに領域を分けなくても、そのまま同じ領域で利用できるソフトとなっておりますので、必ずしも必要な処理ではありません。
管理上、期ごとに領域を変更したい場合にのみ行ってください。

【注 意】

- この処理は前期が終わってすぐに実行してしまうと、「期をまたいだ請求ができなくなる」などの問題が発生します。前期が終わってから3ヶ月程度経ってから処理を実行する事をお勧めします。(例：3/31付で繰越処理を行う場合、実際に処理をするのは6月頃など)
- 前期の売上や入金に訂正があった場合、前期領域と今期領域のデータは別々に手修正が必要になります。データの連動はできません。
- 本処理は、該当のデータ領域にログオン中のユーザーが誰もいないことを確認の上、実行してください。

【操作手順】

- ① メニューの「ファイル」－「データ領域のバックアップ」を起動し、現在のデータ領域のバックアップを行います。
- ② バックアップ終了後、メニューの「ファイル」－「データ領域の作成」を起動します。
現在の領域を選択した状態で「複写」ボタンをクリックします。



- ③ 「新しい領域に複写する」を選択し、[会社名] と [フリガナ] には使用中のデータ領域と同じ内容を入力します。[会社の扱い] も使用中のデータ領域の会社名を選択し、[複写] ボタンをクリックします。

- ④ 複写が終わるとデータ領域の切り替え確認のメッセージが表示されますので、データ領域を切り替えないことを意味する [キャンセル] ボタンをクリックします。最初の画面に戻りますので [閉じる] ボタンをクリックして処理を終了します。

※念のため「ファイル」－「データ領域の選択」にて現在選択されている領域と、複写された領域が増えていることをご確認ください。

【参考】

本資料では、今年度利用していたデータ領域（複写元）で繰越処理を行い、新年度も引き続き同じデータ領域を利用する場合の運用をご案内致します。

《ネットワーク版》をご利用のお客様の場合、複写元のデータ領域を新年度でも使う運用にすることにより、各クライアント（ユーザー）で「データ領域の選択」で新年度の領域を選択し直す必要がなくなります。

- ⑤ メニューの「前準備」－「会社基本情報の登録」を起動し、[データ領域名] を新しい期に合わせて変更します。（「2022年度」や「令和4年度」など）
次に [基本情報] タブをクリックし、[伝票入力可能期間] を新しい期に合わせて変更します。
[登録] ボタンをクリックして変更した内容を登録します。

会社基本情報の登録

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 ヘルプ

会社情報(N):

コード	0001
会社名	PCA商事株式会社
フリガナ	PCAショウジカブ
データ領域名	2022年度

更新履歴

企業情報 基本情報 桁数設定 消費税 項目名と敬称 伝票設定 連動入力 伝票入力制限1 伝票入力制限2 伝票No自動付番 計算式項目

日付設定(A):

使用する暦 西暦 和暦

伝票入力可能期間 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日

伝票の四捨五入桁数 2桁 4桁

自動付番基準日

月次実績の締切日(B):

売上	<input type="radio"/> 5日締 <input type="radio"/> 10日締 <input type="radio"/> 15日締 <input type="radio"/> 20日締 <input type="radio"/> 25日締 <input checked="" type="radio"/> 未締
仕入	<input type="radio"/> 5日締 <input type="radio"/> 10日締 <input type="radio"/> 15日締 <input type="radio"/> 20日締 <input type="radio"/> 25日締 <input checked="" type="radio"/> 未締

原価設定(D):

原価端数	0:得意先の金額端数
原価税込区分	0:売上税込区分

在庫情報(O):

在庫締切日	2021年 3月 31日
倉庫別在庫管理	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
在庫金額の評価方法	<input checked="" type="radio"/> 最終仕入原価法 <input type="radio"/> 総平均法 <input type="radio"/> 標準原価法 <input type="radio"/> 月次移動平均法
在庫金額計算時の円未満端数	<input checked="" type="radio"/> 切捨て <input type="radio"/> 切上げ <input type="radio"/> 四捨五入

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

全角20文字(半角40文字)以内で入力してください。

- ⑥ メニューの「在庫管理」－「在庫の締切」を起動し、[在庫締切日] を前期の末日に設定し、[実行] ボタンをクリックします。
※『PCA 商管シリーズ(じまん・jimanを含む)』をご利用いただいていない場合、この処理は不要ですので⑦にお進みください。

在庫の締切

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 実行 ヘルプ

【参考】前回在庫締切日： 2021年 3月 31日

在庫締切日(A) 2022年 3月 31日

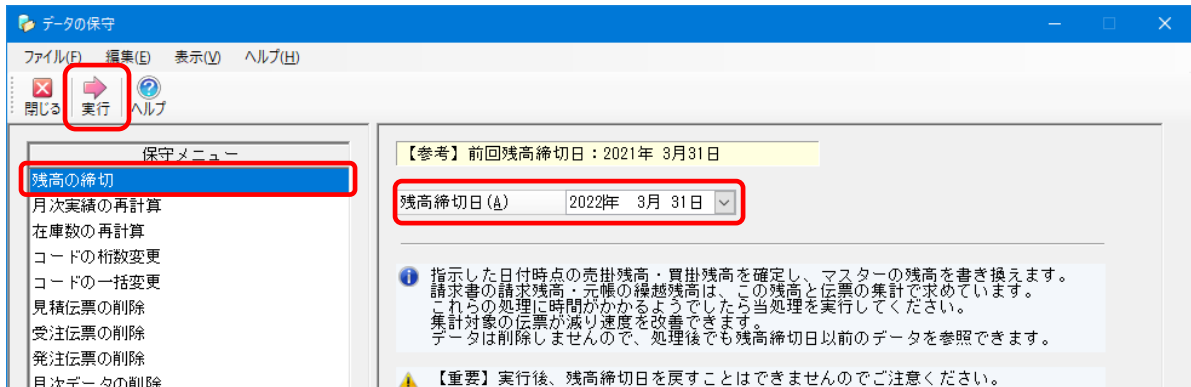
指定した日付時点の評価単価・繰越在庫数を確定し、商品マスターを書き換えます。
伝票は削除しませんので、処理後も在庫締切日以前の伝票を参照できます。

【重要】実行後、在庫締切日に戻すことはできませんのでご注意ください。

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

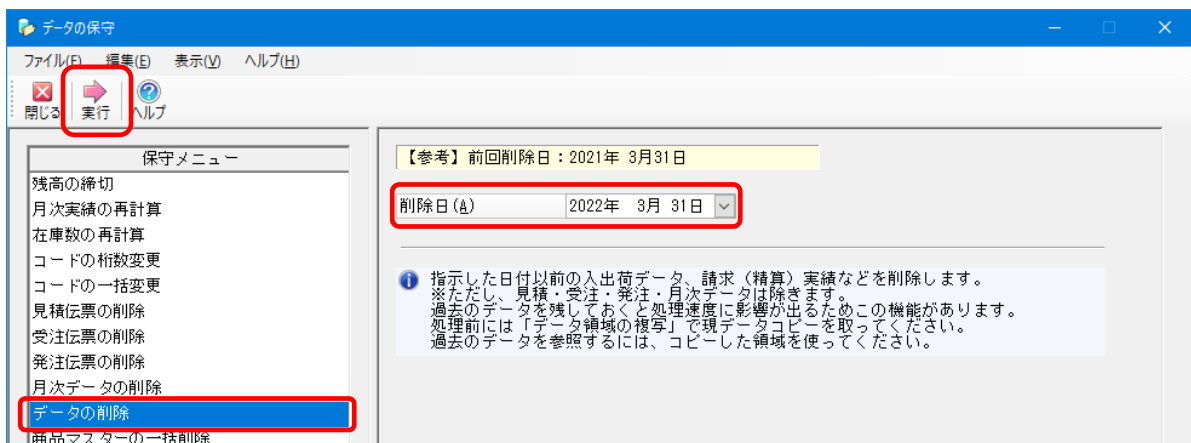
締切日を年月日を分けて入力

- ⑦ メニューの「ファイル」－「データの保守」を起動し、[残高の締切] を選択し、[残高締切日] を前期の末日に設定し、[実行] ボタンをクリックします。



- ⑧ 処理が終了しましたら、表示されるメッセージの [OK] ボタンをクリックします。

- ⑨ 次に [データの削除] を選択し、[削除日] を前期の末日に設定し [実行] ボタンをクリックします。



- ⑩ [閉じる] ボタンをクリックし、「データの保守」メニューを閉じます。

以上でデータの繰越作業は終了です。